

# 三番瀬・海辺のボランティア講座

2010年4月24日(土)

場所／市川市三番瀬塩浜案内所、三番瀬・東浜

## <スケジュール>

- 9 : 0 0 開会
- 9 : 3 0 東浜へ移動
- 1 0 : 0 0 干潟観察、調査実習
- 1 2 : 0 0 三番瀬塩浜案内所へ移動、まとめ  
昼食、休憩
- 1 3 : 0 0 三番瀬の基礎知識 三番瀬の環境再生についてレクチャー  
講師／小埜尾精一
- 1 4 : 0 0 海辺のボランティア講座について
- 1 5 : 0 0 閉会

主催／特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

No. 1

さんばん ぜ ところ  
三番瀬ってどんな所？

2010.04.24

ひがた かんきょう と、そこに住む生物について知ろう

1 さんばん ぜ とうきょうわん のこ たいせつ ひがた  
①三番瀬は東京湾に残る大切な干潟です

とうきょうわん いちばんおく いちかわし ふなばしし おき ひろ うみ きんぱん ぜ ちよ  
東京湾の一番奥、市川市と船橋市の沖に広がる海を三番瀬と呼んでいます。ここには水深5mより  
も浅海が約1,600m<sup>2</sup>も広がり、干潟として干出する部分もあります。

ひがた にはアサリ、バカガイなどの貝類や、ゴカイ、カニ・エビの仲間などが住んでいて、それらをエサに  
するハゼ、インガレイなどの魚類やシギ、チドリ、カモといった鳥類などがやってきて、約800種類も  
の生物が確認されています。アサリ漁やノリ漁などの漁業も行われています。

さんばん ぜ ひと にとっても生き物にとっても大切な海なのです。

ちず とうきょうわん きんぱん ぜ いち かくにん  
・地図で東京湾と三番瀬の位置を確認しよう

## とうきょうわん にはほかにも干潟があるのかな？ 調べてみよう

ひがた せいぶつ す  
②干潟にはたくさんの生物が住んでいます

## りゆう ①: ひがた にはエサが多い！

たいよう の光が海底まで降り注ぐ浅い海では、川から運ばれてきた栄養分を元に、膨大な数のプランクトンが育ちます。そうするとそれを食べる二枚貝やゴカイ、小魚も増え、さらにそれらを食べるもっと大きな魚や、鳥たちもやって来ます。

## りゆう ②: あま 浅い海は安全！

すいしん あま うみ おおがた きな はい 水深が浅い海には大型の魚は入ってくることはできません。小さな生物たちにとって安全な場所でもあります。だから、二枚貝やゴカイなど、一生を干潟で過ごす生物だけでなく、カレイやボラなど稚魚の時代を干潟で過ごす生物がいたり、イカなど産卵に訪れる生物もいるのです。

さんばん ぜ とうきょうわん じょうかし せつ  
③三番瀬は東京湾の浄化施設

とうきょうわん しゅうへん やく 2.900万人の人が暮らしています。その人たちが出した生活排水は川を通して東京湾に運ばれてきます。そんなに大量な生活排水が流れ込んだら、三番瀬はさぞかし濁っているだろうと思うでしょう。しかし、ひがた みず とうめいど が高く驚くほどきれいです。これは、にまいがい おどろ 干潟に住む生物たちがエサを食べることにより、水を浄化しているのです。さんばん ぜ ひがた あきせ 三番瀬の干潟・浅瀬だけで約30万人分もの浄化能力があるとされています。



# No. 2 ひがた いきもの しら 干潟の生き物を調べよう

2010.04.24 ひがたのいきものちゆうきをたいけんしよう

## 1 いきもの ひがた ようす おし ①生き物が干潟の様子を教えてください

干潟にどんな生物がどれくらいいるのか調べると、その干潟の地形や、海底の砂の様子、周辺の環境などを知ることができます。また、ほかの干潟のデータと比べたり、去年のデータと比べることで、より多くのことがわかります。

調査で大切なのは、決められた方法をしっかり理解し、いつでも、誰がやっても同じくできるようになることです。そして、しっかりと記録しておきます。その時に感じたこと、不思議に思ったことがあればそれもメモしておいてください。

## ちゆうさほうほう ②調査方法

### 調査①: 表面調査

調査場所と決めた干潟の上に、どんな生物がどれだけいるか調べます。生き物が活動した跡があればそれも記録しておきます。

### 調査②: 掘り返し調査

表面調査をした所をスコップで掘ってみます。決まった量を、決まった回数掘って、掘り返した砂の中から出てくる生き物の種類と数を調べて記録します。手で拾い出せる大きさの生物を調べる方法です。

### 調査③: 採泥調査

コアサンプラーを使って、決まった量の砂を採って、1mm目のふるいでふるい、残ったものの中から生物をすべて拾い出し、種類と数を調べて記録しておきます。ピンセットを使わないと拾えない、顕微鏡を使わないと見分けることができないくらいの大きさの生物まで調べます。

## ③データはまとめて見やすくしておこう

調査で得たデータは見やすくまとめて、保存しておきましょう。表にしたり、マップに落としてみいでしょう。データを整理すると気がつくこともあります。まとめたデータはほかの人にも見ってもらいましょう。知らない情報を教えてもらえたり、意見を聞くことができます。

## 三番瀬・海辺のボランティア講座 第1回報告書

### 調査のまとめ

#### 1. 調査日

2010年4月24日

#### 2. 調査地

東京湾三番瀬 東浜（ふなばし三番瀬海浜公園西側）



#### 3. 調査者

- ・三番瀬海辺のボランティア参加者
- ・特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

#### 4. 調査方法

- ・干潟で観察した生物の種類を調べた
- ・調査ポイントを1箇所決め、1mの枠を置いて、その中で観察できる生物の種類と数、また生物の活動の痕跡の種類と数を調べた（表面調査）。その後スコップを使って深さ20cmまで掘り、砂の中から出てきた生物の種類と数を調べた（掘り返し）

調査)。この調査を2回行った

・調査ポイントを1箇所決め、それぞれのポイントで、直径10cmのコアサンプラーで30cmまでの採泥を3回行い、1mm目のふるいでふるい、残った生物を採取した

※採集した生物は、ソーティング（拾い出しと分類）して、NPO三番瀬が標本にして、同定（生物の名前をつけること）と定量（数を数えて、重さを量ること）をした。



表面調査



穂絵理返し調査



コアサンプラーによる採泥



1mm目のふるいに残った生物

## 5. 調査結果

東浜(ふなばし三番瀬海浜公園西側)

観察できた生物	
エビ・カニのなかま	
	コメツキガニ
	マメコブシガニ
	イソガニ
	ユビナガホンヤドカリ
	ユビナガスジエビ
	ニホンスナモグリ
	フジツボ
巻き貝のなかま	
	アラムシロ
二枚貝のなかま	
	アサリ
	バカガイ
	マテガイ
クラゲのなかま	
	ミズクラゲ
	カミクラゲ
ゴカイのなかま	
	タマシキゴカイ
	イトゴカイ
海藻のなかま	
	アナアオサ
	オゴノリ
魚の仲間	
	ハゼ(稚魚)
	ボラ(稚魚)
鳥の仲間	
	コサギ

### 観察できた植物

イネ科	
	ヨシ
アブラナ科	
	ハマダイコン

### A班

	1回目	2回目	合計
表面調査			
穴	10	5	15
砂だんご		17	17
掘り返し調査			
アサリ		1	1
コメツキガニ		1	0
ゴカイ		2	0

### B班

	1回目	2回目	合計
表面調査			
穴	22	25	47
掘り返し調査			
マテガイ	1		1


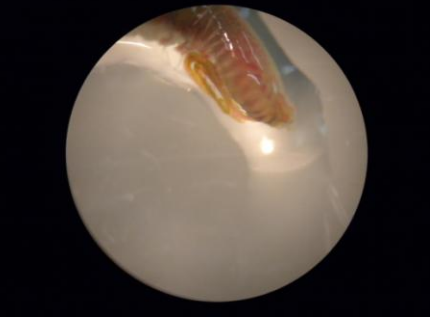





○採泥調査

出現種

		A班		B班	
		個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
ゴカイの仲間	ゴカイ科アシナガゴカイ?			9	3.31
	チロリ科			1	0.05
	スピオ科	2	0.006	1	0.001以下
	イトゴカイの一種	9	0.06	10	0.001以下
	多毛類の一種			17	0.04

	<p>ゴカイ科 アシナガゴカイ</p>
	<p>スピオ</p>
	<p>チロリ</p>